

○遅くなってしまいましたが、幼稚園のお母さま方の分かち合いを読ませていただき、とても励まされ、勉強になったことがたくさんあり、とても感謝しています。我が家では、休園になってからも3人の子供達と元気いっぱい過ごしています。

Aは、ペーパークラフトを夢中でやっています。Hもそれを見て同じようにハサミでチョキチョキして嬉しそうです。

私がこの休園中、心配だったのは、上2人と末っ子との関係でした。末っ子が生まれてから、幼稚園への送り迎えがやっとという生活だったので、ずっとみんなでうちでいたらどうなるのかという不安がありました。しかし、そんな心配が吹き飛んでしまうくらい、3人ともとても仲良く、そして、上2人は優しい気持ちで末っ子と過ごしてくれていて、目に見えないけれどゆっくりとお兄さんとお姉さんに成長しているのだと感じました。子供達に助けられることもたくさんありました。お手伝いもそれぞれ自分で考え、張り切ってやってくれています。また、外には行くことはできないけれど、幼稚園ごっこ、お店やさんごっこ、床屋さんごっこなど、うちの中で色んなところにお出かけをして、毎日とても楽しそうです。末っ子も一応参加している様子です。「次は何ごっこする？どこに行く？」と二人で相談しているのを見ると、ほっこりとした気持ちになります。幼稚園が少しずつ再開され、Hは待ちに待った幼稚園といった様子で張り切っていますが、Aはいつもと変わらず、「今日は行く日ね。」と、とても冷静で、子供達でそれぞれ感じ方も全く違いますが、これからも幼稚園とうちでの時間でバランスが色々と変化し、子供達もそれに対応していくことで、また少しずつ成長していく、その姿を見るのがまた楽しみです。これからもどうぞよろしくお願いします。

○毎日、分かち合いを読みながら、他の方の色々な気付きや思いを知る事ができました。このような状況の中でも繋がってられる事に感謝しております。Aさんのお母さんの思いに対しては特に共感するものがありました。前のAさんとの別れがあり、次はいよいよ自分達の番、その期間をどんな風にBさんとして過ごしてくるのだろうか。新学期が始まり、Cさんのお世話をしたり、新しいお仕事をしていたのかな？貴重な時間が減って残念だなと同じように考えておりました。園長先生の目に見えるもの、見えないことのお話を読み、私は、目に見える成長にこだわりすぎていた気がしました。ひらがなの次はカタカナ、縄跳びをもっとうまく跳んでよ、〇歳なんだからこれができなくちゃ、、、自分の理想を追い求め、目の前の子供に本当に必要なサポートができていなかったかもしれません。私がかける言葉には、親の期待が入っていたかもしれません。(いつも仰る「待つ」「信じる」「見守る」分かっていたはずなのですが、、、) つい口を出したくなりますが、ぐっと我慢して今日、明日の成長ではなく、長い目で見ていきたい。信じて待つてあげられる親でありたいと思いました。園長先生にアドバイス頂いた「あせらずゆっくり、、、」今の私にはよく効きました。ありがとうございました。

○母の取り合い、小学生との接し方、母の実態(怒鳴る、ドアバーン!)、兄弟がすねる・・・ということが、我が家と同じで他のお母様方と一緒にだということに安心したところもあります。学校、幼稚園、保育園は、家庭では得られないことを学び得る場なのだと改めて感じる事ができました。登校、登園できない今、家庭が代わりになるのは無理だけれど、子どもの思い、行動、態度を受け止め、話し合いが出来れば、親と子ども落ち着くことができるのだらうなと思います。言語だけでなく、非言語のコミュニケーションも大事だと思っていますが、親に余裕がないと、イライラが全面に出てきてしまうのは母ちゃんまだまだだな・・・と思う毎日です。

～(略)～

(園長より)

今日は、分かち合いの良さを教えていただきました。自分の考えや思いを人に伝えることは、難しく感じたり、抵抗がある方もいたり、今まであまり経験がなかったり、様々だと思います。私自身も、子どもが幼稚園に行かせて頂き、保護者として、始めて分かち合いを経験しました。それまで、自分の考えや価値観でしか、子育てをしていなかった私は、親となって始めて他の方の悩みや、思いに触れ、みんな一生懸命子育てをしているんだ！みんな頑張ってる！と感じました。そして、卒園を迎えるとき、隣にいるお母様たちと一緒に成長してきた、共に歩んできた、共に分かち合ってきたという、母親としての“仲間”になっていました。聖母幼稚園のお母様方は卒園されても支え合っておられますね。きっと、“分かち合ってきた仲間”なのでしょう。私もその一人に入れていただいていると自負しています。(笑)